

わーく&らいふ

平成31年3月20日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

- ★この春の卒業生進路決定状況
- ★高等部一般学級保護者向けアンケート結果

■この春の卒業生進路決定状況

この春熊本県の特別支援学校を卒業した皆さん348人の進路状況（暫定値）は、下表のとおりとなっています。顕著な特徴が4つあります。

- ①企業就職者は微減。（2月時点で昨年比6人減）
- ②就労移行支援利用者が大幅減。（昨年比5割減）
- ③県立高等技術専門校進学者大幅増（昨年比3倍増）
- ④生活介護とB型利用者の利用数が逆転。

障がい者雇用も売り手市場と思われるかもしれませんが、実際は人手不足感が強い求人動向にもかかわらず伸びていません。東京などの大都市と地方の明暗をはっきり感じる結果です。

進路の類型	H30年度
一般企業	95
療養介護	9
生活介護	57
自立訓練（機能訓練）	0
自立訓練（生活訓練）	14
就労移行支援	16
就労継続支援A型	47
就労継続支援B型	61
地域活動支援センター	0
重症心身障害児（者）施設	3
重症心身障害児（者）通園事業	0
進学	6
専門校	15
児童施設	0
その他	6
未定	19

348

■高等部一般学級保護者向けアンケートの結果と考察

★キャリアアップ・チャレンジ5とは

高等部一般学級では、卒業後の社会参加に向けて身に着けたい行動規範を、「キャリアアップ・チャレンジ5」（右表）として生徒に示し、指導に当たっています。

キャリアアップ・チャレンジ5は、特別なことではなく、いわば『私たち誰もが生きていくために必要な基本行動』です。『生きていくために必要な基本行動』であるということは、お子様それぞれの特性や発達段階に応じて期待したい具体的行動の段階は違えども、本校の児童生徒にも、なるべく早期に身につけさせる必要があるといえます。

キャリアアップ チャレンジ5

- 1 気持ちいい あいさつ へんじ
- 2 きちんとした 身なり
- 3 ていねいな ことばづかい
- 4 時間・約束を まもろう
- 5 そうじ・かたづけ

★アンケートの実施と結果（裏面もご覧ください。）

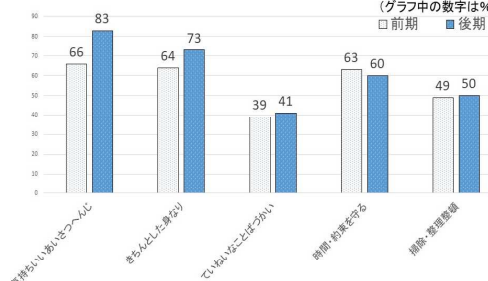
これらの基本行動の育成には、学校と家庭との深い連携が不可欠です。そこで、前後期末にアンケートを通して、保護者の皆様の意識調査を実施いたしましたので、その結果をお知らせします。

まず、「キャリアアップチャレンジ5」のご家庭での認知度は約9割で、ご家庭にもかなり浸透していると感じました。

次にご家族にお子さんのようすを採点していただいたところ、下図のようになりました。（Q2家族から見た評価）

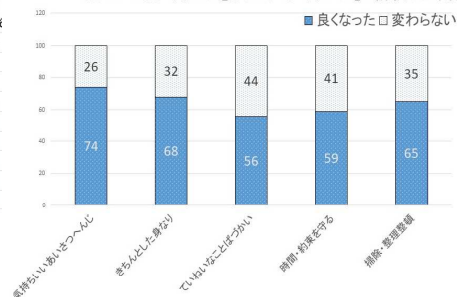
Q2 家族から見た評価

※「よくできる」または「できる」と評価した割合
（グラフ中の数字は％）
□ 前期 ■ 後期



Q4 1年前と比べた変化（グラフ中の数字は％）

※「とてもよかった」または「よかった」と評価した割合



Q2の結果から、ご家族はお子さんのよい行動として「あいさつ返事」が一番に評価されており、課題としては「ていねいなことばづかい」の習得をあげておられます。

また、Q4でお聞きしたこの一年間の変容では半数以上のご家庭が「よかった」と評価いただいており、チャレンジ5をご理解いただいた上で、ご家庭での躾や支援が充実している様子がうかがえます。ご家庭での協力に感謝しますとともに、4月から始まる新しい学習ステージでも、さらに家庭と学校の連携を深め、お子様の成長につなげたいものです。

<編集後記>

一年間「わーく&らいふ」をご愛読ありがとうございました。これからも有益な情報提供・収集の場としてご期待ください。（谷口）

